

櫻井成夫 さくらいなるお フランス文學翻譯家。明治四十年七月五日東京生れ  
 (一九〇七)。父は評論家櫻井鷗村、櫻井忠澄は叔父。昭和七年早稲田  
 大學文學部佛文科卒。同大教授。

譯著書 『フランスマ戰記集』 (共譯、昭和十二年十月五日富山房「富山  
 房百科文庫」)、エドゥワール・エストーニエ作『愛の昇天』 (昭和  
 十六年十一月十一日實業堂日本社)、

ラマルテイーヌ作『若き日の夢』 (昭

和十七年八月二十日昭森社)、櫻井鷗

村著『人間チポレオン』 (校訂、昭和

十八年四月十五日常盤書房)、

パインツ  
 エルンデ  
 ッド 作『海洋短篇小説集』 (新上嘉章  
 上屋 巴

共譯、『昭和十八年五月二十日改造社「現代海洋文學全集」)、ラマル

テイーヌ作『青春の畫像』 (昭和二十一年十一月十日岡倉書房)、ギ

エスターヴ・ル・ボン著『群衆心理』 (昭和二十二年二月十五日岡倉

書房)、エドワール・エストーニエ (エストーニエ) 作『孤獨』 (昭和

二十二年二月十日徳高書房「徳高曲文叢書」)、フロベール作『狂

人の手記』 (昭和二十二年一月二十日

徳高書房)、ゴダール・トクウル作

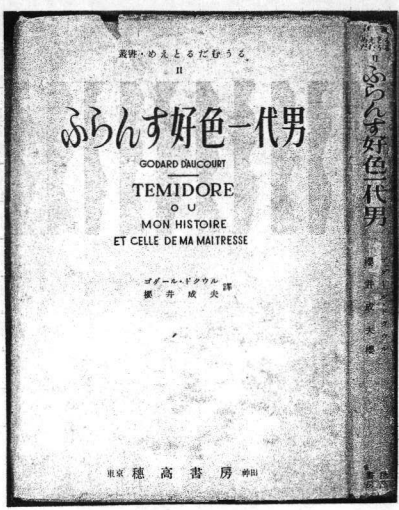
『ふらんす好色一代男』 (昭和二十四

年二月十日徳高書房「叢書・めえとる

だむつゝる』)、ラマルテイーヌ作『湖

畔の愛』ラヌタエル』 (昭和二十五

年四月二十日蒼樹社)、エドモン・ド・ゴンクロー作『賣笑婦エリ



サ』(昭和二十五年十月五日阿含書房)、モロワ作『宿命の血』(新

注喜望堂共譯、昭和二十七年一月二十一日新潮社)、モーパッサン作

『水の上』(吉江喬松共譯、昭和二十九年九月二十五日岩波書店)岩波

文庫』)、シヨゼフ・ケッセル作『ところのれの人々』(昭和二十一年

三月)千代大日本雄弁会講談社)等。